



Boy's Festival Ornaments, Utagawa Yoshifuji, 1852, Nagoya City Museum

【かざりつけ例】 ※たけひご（わりばしで代用可）、ひもが必要となります。



うたがわよしふじ こ うきよえはんが え さくひん
 歌川芳藤は子どものための浮世絵版画である「おもちゃ絵」、とりわけこの作品のようなペーパー
 クラフト(たてばんこく あえどくい うきよえし れふじ じぶんもけいづく
 たてばんこく あえどくい うきよえし れふじ じぶんもけいづく
 立版古、組み上げ絵)を得意とした浮世絵師です。芳藤は、あらかじめ自分で模型を作っ
 て組み立ててから完成図にしたそうです。実際に切りぬいてみると、とてもいねいに作られている
 ことがわかります。いまねんまえつく さくひん
 今から250年前に作られた作品ですが、めずらしいことに、これまで組み立
 てられずに残りました。江戸時代の子供たちにかわって、お楽しみください。

歌川芳藤 端午の節句 嘉永5年(1852) 名古屋市博物館蔵(尾崎久弥コレクション)を、原寸の70%に縮小しています。

この作品は、特別展「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」(2018年、名古屋市博物館ほか)で展示されました。

歌川芳藤と彼の先生、国芳について、もっと知りたい方はこちらをどうぞ。

◀展覧会の詳細▶ <http://www.museum.city.nagoya.jp/exhibition/special/past/tenji190223.html>